

別記

第1号様式（第5条関係）

令和 年 月 日

鹿児島県教育委員会 殿

奨学のための給付金受給申請書

次の5点を確認の上、□にレ点を付けてください。

- この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
□ この申請書に虚偽の記載があった場合は、鹿児島県教育委員会の求めに従いその全額を即時返還します。
□ 私は鹿児島県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っていません。
□ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅行費又は特別育成費（母子生活支援施設の高中生等を除く。））の支弁対象ではありません。
※ 児童入所施設措置費の支弁対象となる高校生等には、里親委託費のうち、修学旅行費又は特別育成費を受給している世帯に扶養されている高校生等を含みます。
□ 給付金の支給を行うために鹿児島県教育委員会が必要があると認める場合、基準日における世帯の状況について各市町村及びその他関係機関に確認することを同意します。

令和 年度における奨学のための給付金の受給を申請します。

Table with 2 main columns: 申請区分 and 支給区分. Includes checkboxes for various categories like 生活保護世帯, 家計急変, 生活保護, 第1子, 第2子以降, 通信制専攻科.

Table for applicant information: 申請者住所 (鹿児島県), ふりがな, 申請者氏名, 連絡先 (電話番号), 高校生等との関係 (親権者等, 未成年後見人, etc.).

【1 対象となる高校生等について】

Table for student information: ふりがな, 氏名, 生年月日, 昭和/平成, 学校名称, 学年, 第 学年, 在学する学校 (国公立区分, 学校の種類・課程・学科), 在学期間, 過去の高等学校等における在学期間.

【2 保護者等の収入の状況について】（該当するものを選択してください。）

(1) 生活保護法第36条の規定による生業扶助（高等学校等就学費）を受給していることが分かる証明書を提出します。

Form with checkbox: □ 生業扶助（高等学校等就学費）を受給していることが分かる証明書

(2) 次の者の課税証明書等を提出します。(※家計急変の場合は、給与収入、扶養親族等の記載が省略されていないもの)

生徒との続柄	氏名

生徒との続柄	氏名

①	<input type="checkbox"/>	親権者等(両親)2名分
②	<input type="checkbox"/>	親権者等1名分(親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。)
	<input type="checkbox"/>	・離婚及び死別、養子縁組等により親権者等が1名の場合 ・親権者等が存在するものの、家庭の事情(例:DV、養育放棄等)によりやむを得ず、親権者等の1人の課税証明書等を提出できない場合等 ※理由
③	<input type="checkbox"/>	未成年後見人()名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分) ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
④	<input type="checkbox"/>	生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)1名分 ・親権者等又は未成年後見人が存在しない場合等 ※高校生等が未成年の場合、親権者の状況を記載してください。(例:父母ともに死去等)
⑤	<input type="checkbox"/>	生徒本人 親権者等、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

(3) 次の理由により、課税証明書等を提出しません。

<input type="checkbox"/>	所得確認の対象が生徒本人(親権者等、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合)であるが、未成年で道府県民税所得割及び市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていない場合
--------------------------	--

※(2)又は(3)に該当する場合は、下記内容を確認の上、□にレ点を付けてください。

<input type="checkbox"/>	私の世帯は、 月 日(基準日)現在、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助は受給していません。
--------------------------	---

【3 扶養親族等の状況について】

※基準日現在、**生徒本人及び15歳(中学生を除く。)**以上**23歳未満の扶養親族全員**を記入して下さい。

生徒との続柄	氏名	生年月日(年齢) <small>※年齢は基準日現在</small>	学校名・職業等	学年等	給付金の申請の有無	
生徒本人		昭和 平成 年 月 日(満 歳)				
高校生等	下 記 以 外	兄 弟 姉 妹	昭和 平成 年 月 日(満 歳)	立	年 □有 □無	
		兄 弟 姉 妹	昭和 平成 年 月 日(満 歳)	立	年 □有 □無	
	兄 弟 姉 妹	昭和 平成 年 月 日(満 歳)	立	年 □有 □無		
	通 信 制 ・ 専 攻 科	兄 弟 姉 妹	昭和 平成 年 月 日(満 歳)	立	□通信制 □専攻科 年	□有 □無
		兄 弟 姉 妹	昭和 平成 年 月 日(満 歳)	立	□通信制 □専攻科 年	□有 □無
高校生 等 以 外	兄 弟 姉 妹	昭和 平成 年 月 日(満 歳)				
		昭和 平成 年 月 日(満 歳)				
		昭和 平成 年 月 日(満 歳)				

※ に該当する者がある場合は、扶養誓約書(事務処理要領様式3)を提出してください。

【4 支給方法について】

支給方法	<input type="checkbox"/>	口座振込みにより支給してください。 (※口座振込申出書(別紙1)及び通帳またはキャッシュカードの写しを添付してください。)
	<input type="checkbox"/>	現金により支給してください。 (※鹿児島県立高等学校に在学する高校生等の保護者等であって、別途指定する日時及び場所に受け取りに来られる場合のみ選択してください。)

口座振込申出書

年 月 日

(支出命令所属) 資金前渡職員 殿

申請者住所 _____

申請者氏名 _____

私に対する奨学のための給付金の支払いについては、下記口座に振り込まれるよう申し出ます。

記

※ 原則、申請者本人の口座を指定してください。

金融機関名： _____ 銀行・労金・信金
信組・相信・農協 店舗名： _____ 本店・支店・支所
出張所・代理店
その他【 】

預金種別： 普通預金 ・ 当座預金 口座番号： _____

口座名義： _____

(通帳裏面等に記載のカタカナ名義又はアルファベット名義を記入)

※ 金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義の記載されているページの写しを貼り付けてください。

年 月 日

鹿児島県教育委員会 殿

扶養者住所

氏名

扶 養 誓 約 書

以下の事項を必ず確認の上、□にレ印及び必要事項を記入してください。

この誓約書の記載内容は、事実に相違ありません。

年 月 日（基準日）現在、私と下記の者は、「健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係と同等の関係」にあることを誓約します。

記

氏 名	続柄	住 所	生年月日	職業又は 就学状況

※ 続柄は、申請する保護者等を基準として記入してください。

家計急変状況申出書

年 月 日

申請者住所 _____

申請者氏名 _____

以下の事項を必ず確認の上、□にレ印及び必要事項を記入してください。
 □この申出書の記載内容は、事実と相違ありません。

私の世帯の家計急変状況について、下記のとおり申し出ます。

記

1 家計急変日 _____ 年 _____ 月 _____ 日			
2 家計急変理由			
3 家計急変後の扶養親族等について (世帯人数 _____人)			
<p>下記の者は、「健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係と同等の関係」にあることを誓約します。</p> <p>※ 年齢に関わらず、<u>扶養している全員を記入</u>してください。</p>			
続柄	氏名	続柄	氏名
世帯主 (扶養者)			

証明機関等名

生活保護法（昭和 25 年法律第 144 号）第 36 条の規定による
生業扶助（高等学校等就学費）受給証明書

下記の世帯が、 年 月 日（基準日）現在、生活保護法（昭和 25 年法律第 144 号）第 36 条の規定による「生業扶助（高等学校等就学費）」の受給中であることを証明する。

記

世帯主氏名	住所		
世帯員氏名			
氏 名	続柄	生年月日	保護開始年月日
証明書の使用目的			
備考			